事業所名	あごらクラブ	支援プログラム	作成日	2024 年	12 月	20	日
------	--------	---------	-----	-----------	---------	----	---

	送人(事業所)理念 送人(事業所)理念 『ふくしが よかとこ いとしま』 「い」糸島に住み続けることを願い 「と」共に生きる地域社会を願い 「し」幸せに誰もが暮らせることを願い 「ま」町が元気になることを願い 社協は、そんな願いの実現を目指す「地域福祉の中核組織」である 糸島市社協は、この基本理念を遵守し、地域福祉の中核として、誰もがその人らしく安心して暮らせる福祉コミュニティーの形成を目指して活動を推進する。									
	『空に虹がかかるように 子どもたちが自分らしく生き生きと 色とりどりに輝けるように』 支援方針     のびのびと過ごす事のできる空間で、お子様の個性に応じた療育を行っています。友達との関わりや日常生活に必要なルールが自然と身につくようなサービス提供をし、楽しく 運営を心がけています。								し、楽しく安全な	
	営業時間	8 時	30 分から	1 <mark>7</mark> 時	00 分まで	送迎実施の有無	あり なし			
							活動プログラム			
	健康・生活	<ul><li>②健康状態の把握</li><li>⑤健康の増進</li><li>⑥リハビリテーションの実施</li><li>③基本的生活スキルの獲得</li><li>⑥構造化等により生活環境を整える</li></ul>				検温、健康観察 スケジュール表の活用 スプーン、箸、コップの練習 トイレトレーニング 身の回りの整理整頓・身だしなみ				
本人支援	運動・感覚	③姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 ⑤姿勢と運動・動作の補助的手段の活用 ⑥保有する感覚の総合的な活用					トランポリン ラジオ体操 ストレッチ ヨガ 散歩 ボールやラケットなど道具を使った遊び 動物歩きゲーム 転がしサッカー 風船バレー ビジョントレーニング リズム体操			
	認知・行動	<ul><li>②感覚や認知の活用</li><li>⑤知覚から行動への認知過程の発達</li><li>⑥認知や行動の手がかりとなる概念の形成</li><li>④数量、大小、色等の習得</li><li>⑥認知の偏りへの対応</li><li>①行動障害への予防及び対応</li></ul>				日付・天気の把握と確認 ブロック遊びによる空間 小集団でのゲーム 黒白だ ビーズ入れ 紐通し 季節の制作作業 散歩 強度行動障害支援手順	把握 ゲーム 色タッチゲームなど			
	言語 コミュニケーション	□ 受容言語と表面言語の支援 ©人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 □ 個指差し、身振り、サイン等の活用				呼名の練習(お友達や職員) ごっこ遊び(言葉のやりとり) ジェスチャーゲーム 読み聞かせ 読み書き 読書 カードの活用				
	人間関係 社会性	®模倣行動の支援 ©感覚運動遊びから象徴遊びへの支援				集団活動 ルールのある遊び 共同制作 トランプやジェンガなど玩具の共有 一対一の遊びやチーム戦 買物疑似体験 お祭り体験(売り子・お客体験) 発達段階に合わせた手遊びやスキンシップ 手指マッサージ 挨拶 ごっこ遊び 読み聞かせ				
保護者同士の交流の機会の提供(保護者会) 家族支援 子育ての困りごとでの相談支援 子育てや障がいに対する情報提供			移行支援			併用利用先や学校との情報共有や支援のすり合わせ 卒業後のサービスへの移行支援 地域の環境美化 地域の方のご協力のもと、農作業等の就労体験に参加				
地域の小学校のバザ 地域支援・地域連携 ボランティアの受け 地域のお店で買い物						職員の質の向上	毎月、職員研修を実施 社協主催の研修(衛生管理、BCP、人権、虐待防止研修など) 外部研修(オンライン研修含む)の受講 強度行動障がい支援者養成研修受講など			
外出支援(買物、食事、電車移動等)、工場見学 主な行事等 調理実習、季節の催し(花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、初詣など) 野菜の種まき、苗植え等、栽培、収穫体験										